

景 気 動 向 調 査

(第 177 回)

2015 年 4 月 ~ 6 月期実績

2015 年 7 月 ~ 9 月期予測

株式会社 北日本銀行

経 営 企 画 部

目 次

調査要領	1
概 況	2
1. 県内景況感について	4
2. 業況について		
(1) 売上高または出荷高	5
(2) 仕入高または生産高	6
(3) 在 庫	7
(4) 収 益	8
(5) 販売価格・仕入価格	9
3. 設備投資の動向について		
(1) 設備投資の実施状況	10
(2) 設備投資の目的	11
4. 資金繰り状況について		
(1) 資金繰り状況	12
(2) 現金・預金	13
(3) 金融機関借入	13
(4) 販売代金回収期間	14
(5) 仕入代金決済期間	14
5. 経営上の問題点について	15

調 査 要 領

この報告は、岩手県内企業各社のご協力をもとに、下記の要領により景気動向の調査を行ったものです。

記

- 1．実施時期 2015年6月下旬～7月上旬
- 2．調査対象期間 2015年4月～6月期実績
 2015年7月～9月期予測
- 3．調査の方法 郵送による無記名のアンケート方式（年間4回）
- 4．対象先 岩手県内企業302社
- 5．回答数 169通（回答率 55.96 %）
 <内訳> 製造業57社 建設業36社 卸・小売業76社
- 6．調査の主要項目 （1）業況について
 （2）設備投資の動向について
 （3）資金繰りの状況について
 （4）当面する経営上の問題点について

以 上

【本文用語説明】

「増加」～グラフ上の「増加」および「やや増加」

「減少」～グラフ上の「減少」および「やや減少」

DI（ディフュージョン・インデックス）～

「景気動向指数」のことで、各項目について「増加」（増加およびやや増加）と回答した企業の比率から「減少」（減少およびやや減少）と回答した企業の比率を減じた数値である。この値が「0」の場合は、「増加」と「減少」が等しいことを示し、プラスとなるほど「増加」が多く、マイナスになるほど「減少」が多いことを意味する。

（注）「上昇・低下」「楽になった・苦しくなった」「長くなった・短くなった」の回答についても同様に読み替える。

ただし、「販売代金回収期間」については、「短くなった」-「長くなった」で算出している。

概 況

2015年4～6月期の岩手県内企業の景況感D Iは、全体で 27.8 と前期（2015年1月～3月期） 31.0 に比較し、3.2 ポイント上向いた。

2015年7～9月期も引き続き景況感は緩やかな上向き予想となっているが、個別の指標によって、上昇・改善する項目と低下・悪化する項目が混在し、また変動幅も比較的小幅であり、総体的に当期と大きく変動しない見通しとなっている。

D I（景気動向指数）推移

全業種ベース	4～6月期実績	7～9月期見通し
景況感	27.8	23.8
売上高・出荷高	2.9	4.8
収益	7.0	9.7
販売価格	13.1	13.2
仕入価格	35.8	32.3
資金繰り	0.5	8.4

日本株市場において、日経平均株価が2万円を超え、一時海外要因による下落はあったものの、依然底堅さを保っている。しかしながら、一方では実態経済や地方への波及については、いまだ実感が薄い状況にある。

13年ぶりの円安水準のため、仕入価格や製造コストが上昇し、製造業や卸・小売業は特に影響を受けている。今回調査における総体的な景況感（D I）は消費税増税直後の1年前と比べても、あまり改善が見られない。（今回 27.8、前年同期 31.7）

岩手県内の求人状況は沿岸部中心に安定した水準を保っている。しかしながら、売り手市場に転じていることや、人口減少社会を見据えて業績好調な大手企業の求人増などを背景に、人員確保が厳しくなってきている。

今後も地方創生への地方自治体中心の取組み、復興加速や人口減少対策など地域活性化の各施策の実現性・実効性を注視する必要がある。

< 参考 >

岩手県内企業「景況感D I」ワーストランキング

	調査回次	対象期間	景況感D I
1	第153回	09年1～3月	92.7
2	第152回	08年10～12月	91.3
3	第124回	01年10～12月	91.2
4	第109回	98年1～3月	90.6
5	第111回	98年7～9月	90.0

（1971（昭和46）年以降）

1．県内景況感について

全体のD Iは、 27.8であった。

各業種別のD Iをみると、製造業が 31.6、建設業が 13.9、卸・小売業が 31.6と前回調査時と比べて景況感は、製造業と建設業は悪化、卸・小売業は上向いた。

7～9月期見通しでは、製造業が 33.3、建設業が 2.8、卸・小売業は 26.7と、製造業は悪化、建設業と卸・小売業は上向き予想となっている。

2．業況について

(1) 売上高または出荷高

D Iは、全体では 2.9であった。業種別では、製造業が 10.4、建設業が 8.4、卸・小売業が 18.4である。

(2) 仕入高または生産高

製造業の生産高はD Iが 0.1、卸・小売業の仕入高は 13.3となっている。

(3) 在庫

製造業の製品在庫D Iは 3.6、卸・小売業の商品在庫は 13.9となっている。

(4) 収益

D Iは、全体では 7.0となっている。業種別では、製造業が 5.2、建設業が 8.3、卸・小売業が 23.6である。

(5) 販売価格・仕入価格

販売価格は 13.1、仕入価格は 35.8となっている。

3．設備投資の動向について

全体で見ると、設備投資を「実施した」企業は 28.0%となっている。

業種別では、製造業が 30.4%、建設業が 25.0%、卸・小売業が 27.7%である。

設備投資の目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」がトップとなり「生産・販売能力の増加」が 2 位、「省力化・合理化」が 3 位となっている。

4．資金繰り状況について

D Iは、全体では 0.5であった。業種別では、製造業が 1.8、建設業が 30.6、卸・小売業が 14.4である。

5．経営上の問題点について

全業種合計では、「売上・受注不振」、「原材料・仕入価格高」、「人手不足」が上位を占めている。

1. 県内景況感について

～ 実績・予想とも卸・小売業は上向き、製造業は悪化 ～

[4～6月期の実績] 県内の景況感（前年同期比）をみると、全業種では「良い」と答えた企業が12.4%（前期14.6%）、「悪い」が40.2%（同45.6%）で、DIは 27.8（同 31.0）と、前期に比べて3.2ポイント上向いた。

業種別の景況感（DI）をみると、製造業が 31.6（同 18.5）、建設業が 13.9（同0.0）、卸・小売業が 31.6（同 55.5）となっており、製造業と建設業は悪化、卸・小売業は上向いた。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「良くなる」とみる企業が14.3%、「悪くなる」が38.1%であることから、DIは 23.8となり、4～6月期実績と比較して上向き見通しとなっている。

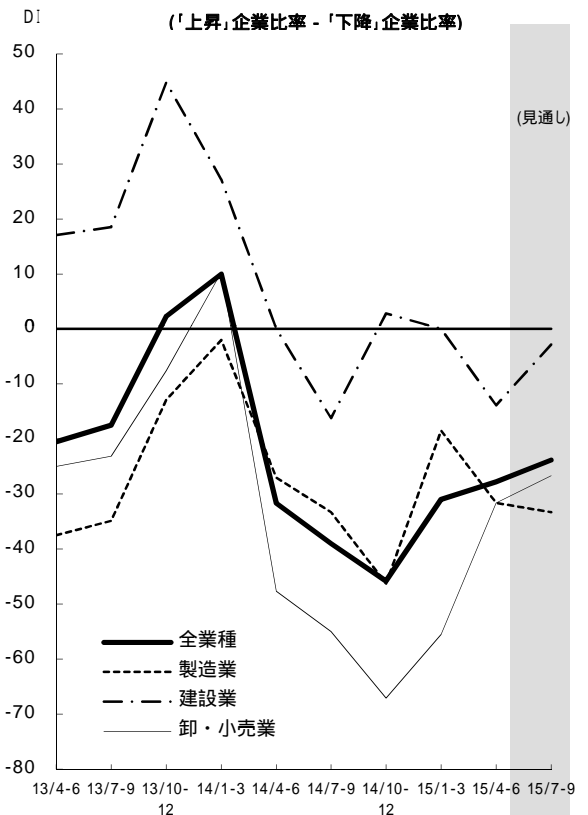
業種別にみると、製造業が 33.3、建設業が 2.8、卸・小売業が 26.7となっており、製造業は悪化、建設業と卸・小売業は上向き見通しである。

県内景況感（前年同期比）

		（％）					DI
	期	良い	やや良	不変	やや悪	悪い	
全業種	4～6月（実績）	0.6	11.8	47.4	33.1	7.1	-27.8
	7～9月（見通し）	0.0	14.3	47.6	31.0	7.1	-23.8
（製造業）	4～6月（実績）	1.8	14.0	36.8	38.6	8.8	-31.6
	7～9月（見通し）	0.0	12.3	42.1	38.6	7.0	-33.3
（建設業）	4～6月（実績）	0.0	16.7	52.7	25.0	5.6	-13.9
	7～9月（見通し）	0.0	19.4	58.4	19.4	2.8	-2.8
（卸・小売業）	4～6月（実績）	0.0	7.9	52.6	32.9	6.6	-31.6
	7～9月（見通し）	0.0	13.3	46.7	30.7	9.3	-26.7

県内景況感（前年同期比）

（「上昇」企業比率 - 「下降」企業比率）



2. 業況について

(1) 売上高または出荷高

～実績は全業種が上向き、見通しは建設業と卸・小売業が上向き予想～

[4～6月期の実績] 売上高・出荷高実績(前年同期比)をみると、全業種では「増加」と答えた企業が38.5%(前期32.5%)、「減少」が41.4%(同49.0%)となり、DIは 2.9(同 16.5)と13.6ポイント上向いた。

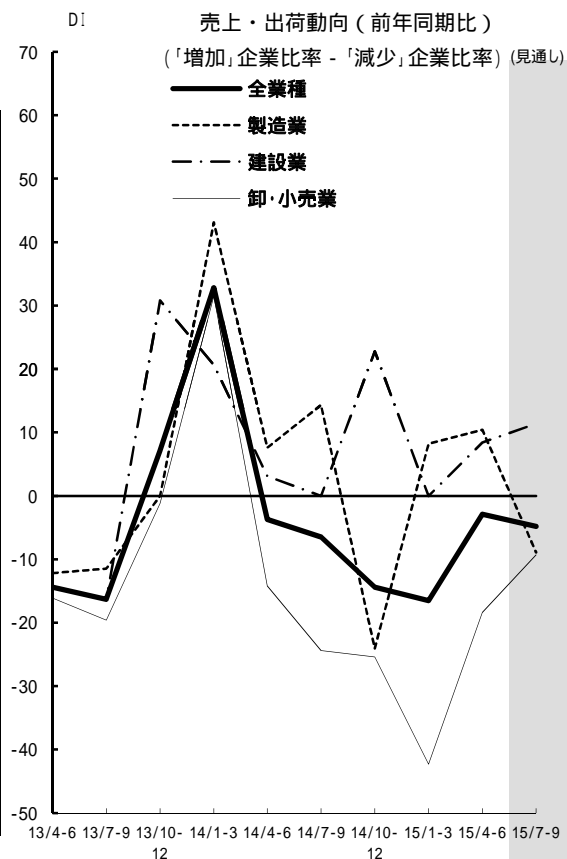
業種別にDIをみると、製造業10.4(前期8.2)、建設業8.4(同0.0)、卸・小売業 18.4(同 42.3)となっており、全業種で上向いた。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し(前年同期比)をみると、全業種では「増加」とみる企業が27.1%、「減少」が31.9%であることから、DIは 4.8で4～6月期実績と比較して低下する見通しとなっている。

業種別にDIをみると、製造業で 8.9、建設業で11.4、卸・小売業で 9.3となっており製造業は低下、建設業と卸・小売業は上向く見通しである。

売上高または出荷高(前年同期比)

		(%)					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
全業種	4～6月(実績)	10.7	27.8	20.1	30.2	11.2	-2.9
	7～9月(見通し)	5.4	21.7	41.0	26.5	5.4	-4.8
(製造業)	4～6月(実績)	10.5	33.3	22.8	21.1	12.3	10.4
	7～9月(見通し)	7.1	16.1	44.7	25.0	7.1	-8.9
(建設業)	4～6月(実績)	16.7	22.2	30.6	22.2	8.3	8.4
	7～9月(見通し)	5.7	28.6	42.8	20.0	2.9	11.4
(卸・小売業)	4～6月(実績)	7.9	26.3	13.2	40.8	11.8	-18.4
	7～9月(見通し)	4.0	22.7	37.3	30.7	5.3	-9.3



(2) 仕入高または生産高

～ 実績・見通しとも製造業は低下、卸・小売業は上向き～

[4～6月期の実績] 仕入高・生産高実績（前年同期比）をみると、製造業（生産高）では「増加」と答えた企業が29.8%（前期40.8%）、「減少」が29.9%（同38.8%）であり、DIは 0.1（同2.0）と2.1ポイント低下した。

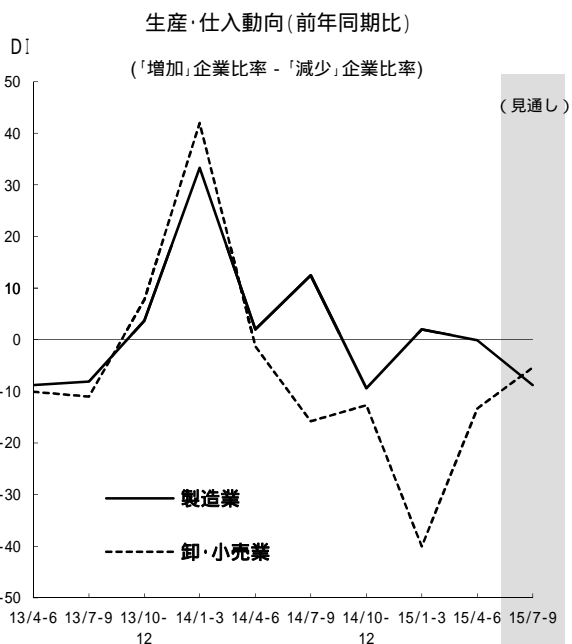
卸・小売業（仕入高）では、「増加」と答えた企業は32.0%（前期20.0%）、「減少」が45.3%（同60.0%）で、DIは 13.3（同 40.0）と26.7ポイント上向いた。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、製造業（生産高）については、「増加」と答えた企業が22.8%、「減少」が31.6%であることから、DIは 8.8で、4～6月期実績と比較して8.7ポイント低下見通しとなっている。

卸・小売業（仕入高）については、「増加」と答えた企業が29.3%、「減少」が34.7%であることから、DIは 5.4で、4～6月期実績と比較して7.9ポイント上昇する見通しとなっている。

生産高または仕入高(前年同期比)

		D I (%)					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	D I
(製造業)	4～6月 (実績)	7.0	22.8	40.3	21.1	8.8	-0.1
	7～9月 (見通し)	3.5	19.3	45.6	26.3	5.3	-8.8
(卸・小売業)	4～6月 (実績)	6.7	25.3	22.7	36.0	9.3	-13.3
	7～9月 (見通し)	4.0	25.3	36.0	28.0	6.7	-5.4



(3) 在 庫

～ 在庫水準はほぼ適正に推移 ～

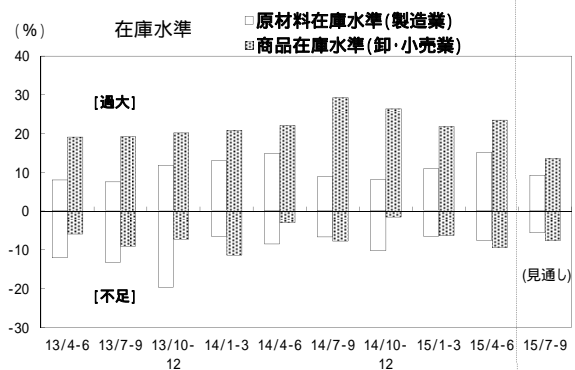
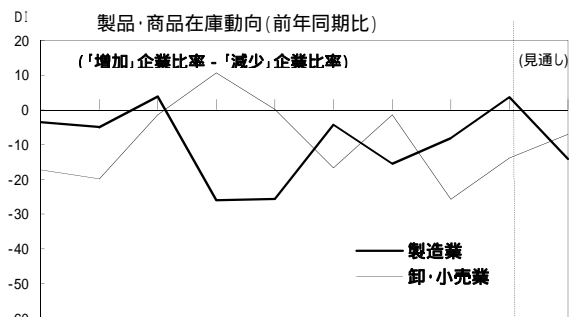
[4～6月期の実績] 在庫状況実績（前年同期比）をみると、製造業では、製品在庫が「増加」と答えた企業は24.6%（前期24.5%）、「減少」が21.0%（同32.6%）であることから、DIは3.6（同 8.1）となった。また、製品在庫水準については、「過大」が21.4%（同16.3%）、「適正」が64.3%（同69.4%）、「不足」が14.3%（前期も14.3%）である。卸・小売業の商品在庫は、「増加」と答えた企業が12.5%（前期9.1%）、「減少」は26.4%（同34.8%）であることから、DIは 13.9（同 25.7）となった。また、商品の在庫水準については「過大」が23.5%（同21.9%）、「適正」が67.1%（同71.8%）、「不足」が9.4%（同6.3%）である。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、製造業の製品在庫は、「増加」とみる企業が14.0%、「減少」が28.1%で、DIは 14.1となっている。また、同じく製品在庫水準については「過大」とみる企業が9.3%、「適正」が81.4%、「不足」が9.3%である。

卸・小売業の商品在庫については、「増加」とみる企業が12.7%、「減少」が19.7%であることから、DIは 7.0となっている。また、同じく商品の在庫水準については「過大」とみる企業が13.6%、「適正」が78.8%、「不足」が6.0%である。

製品・商品在庫（前年同期比）

		（%）						
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI	
（製造業）	4～6月 （実績）	8.8	15.8	54.4	17.5	3.5	3.6	
	7～9月 （見通し）	3.5	10.5	57.9	24.6	3.5	-14.1	
（卸・小売業）	4～6月 （実績）	0.0	12.5	61.1	16.7	9.7	-13.9	
	7～9月 （見通し）	0.0	12.7	67.6	12.7	7.0	-7.0	



(4) 収 益

～ 収益実績は卸・小売業が上向き
見通しは製造業と建設業が低下予想～

[4～6月期の実績] 収益動向実績（前年同期比）をみると、全業種では「増加」と答えた企業が32.0%（前期29.9%）、「減少」が39.0%（同40.8%）であり、DIは7.0（同10.9）となり3.9ポイント上向いた。

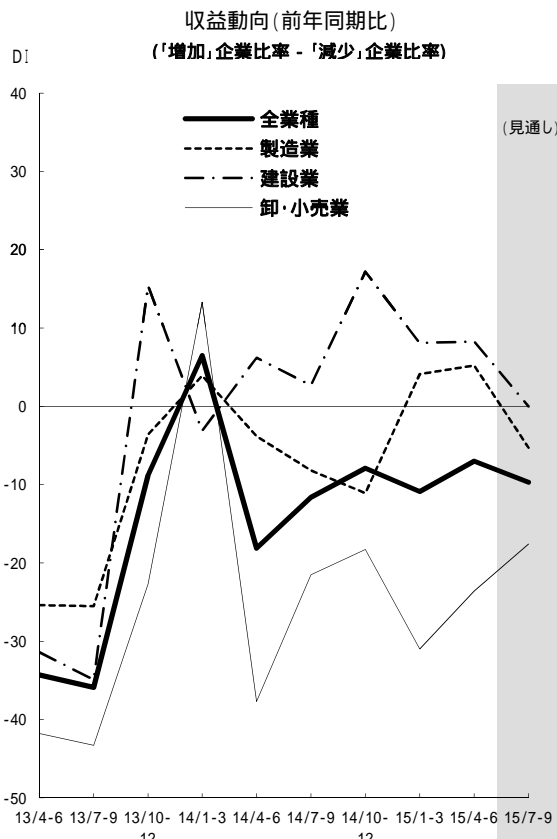
業種別にDIをみると、製造業5.2（前期4.1）、建設業8.3（同8.1）、卸・小売業23.6（同31.0）と、製造業と建設業はほぼ横ばい、卸・小売業は上向いた。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「増加」とみる企業が21.5%、「減少」とみる企業も31.2%であることから、DIは9.7で、4～6月期実績と比較して低下する見通しである。

業種別にDIをみると、製造業5.3、建設業0.0、卸・小売業17.6で、4～6月期実績と比較して、製造業と建設業は低下、卸・小売業は上向き見通しである。

収 益(前年同期比)

		(%)					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	4～6月 (実績)	8.9	23.1	29.0	27.8	11.2	-7.0
	7～9月 (見通し)	3.7	17.8	47.3	24.5	6.7	-9.7
(製造業)	4～6月 (実績)	10.5	31.6	21.0	24.6	12.3	5.2
	7～9月 (見通し)	5.4	19.6	44.7	23.2	7.1	-5.3
(建設業)	4～6月 (実績)	8.3	22.2	47.3	13.9	8.3	8.3
	7～9月 (見通し)	3.0	24.2	45.6	24.2	3.0	0.0
(卸・小売業)	4～6月 (実績)	7.9	17.1	26.4	36.8	11.8	-23.6
	7～9月 (見通し)	2.7	13.5	50.0	25.7	8.1	-17.6



(5) 販売価格・仕入価格

～ 仕入価格のD Iは低下傾向 ～

[4～6月期の実績] 販売価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が25.0%（前期28.9%）、「低下」が11.9%（同15.4%）であることから、D Iは13.1（同13.5）と上昇した。

仕入価格（前年同期比）は、全業種では「上昇」と答えた企業が47.1%（前期46.8%）「低下」が11.3%（同12.2%）であることから、D Iは35.8（同34.6）と上昇した。

[7～9月期の見通し] 7～9月期見通し（前年同期比）をみると、販売価格については「上昇」とみる企業が23.4%、「低下」とみる企業が10.2%であることから、D Iは13.2で、横ばい見通しである。

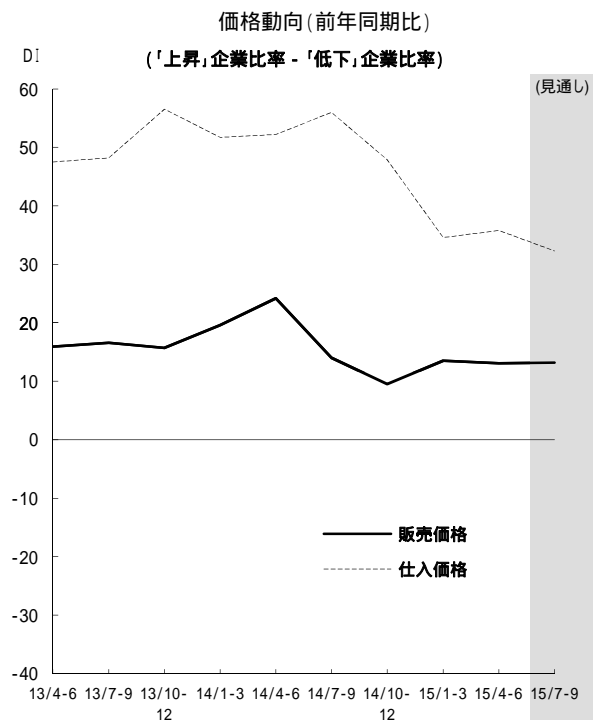
仕入価格については、「上昇」とみる企業が40.1%、「低下」とみる企業が7.8%であることからD Iは32.3と低下見通しとなっている。D Iは低下傾向にあるが、依然上昇すると見る企業は多い水準にある。

販売価格(前年同期比)

		D I (%)					
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	D I
全業種	4～6月 (実績)	2.4	22.6	63.1	9.5	2.4	13.1
	7～9月 (見通し)	1.8	21.6	66.4	7.2	3.0	13.2

仕入価格(前年同期比)

		D I (%)					
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	D I
全業種	4～6月 (実績)	4.8	42.3	41.6	8.9	2.4	35.8
	7～9月 (見通し)	3.6	36.5	52.1	5.4	2.4	32.3



3. 設備投資の動向について

(1) 設備投資の実施状況

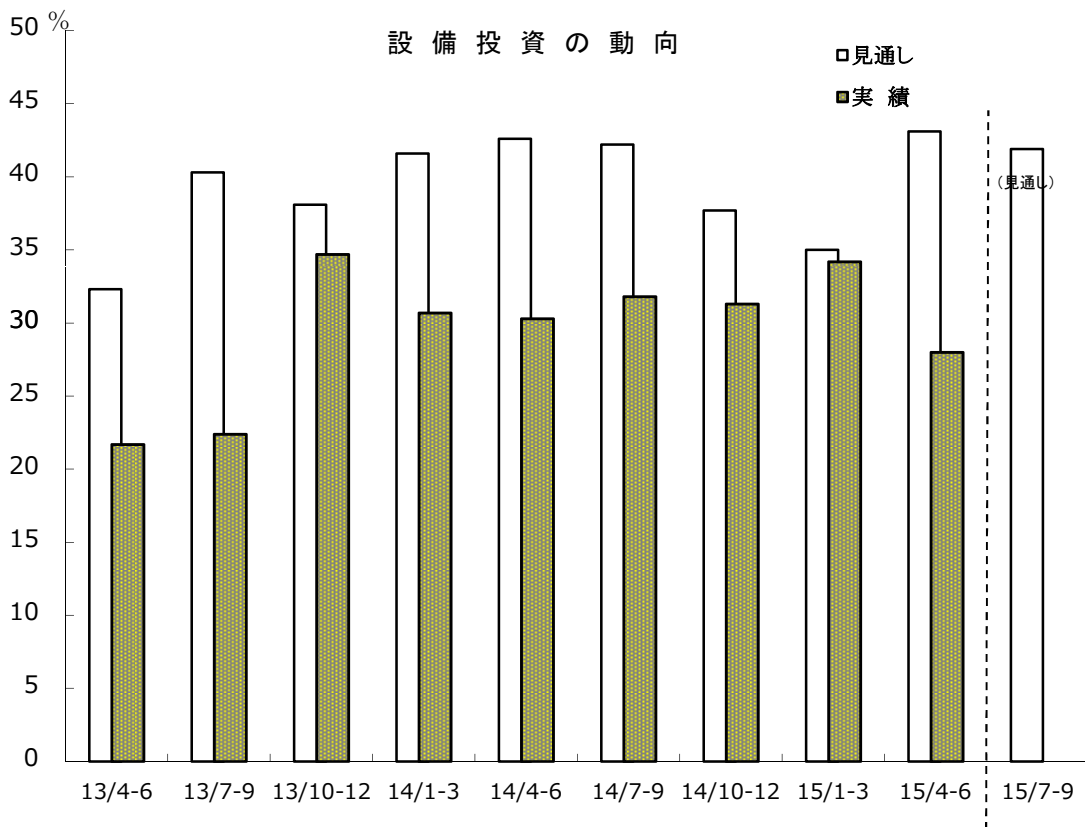
～ 実績は製造業が増加、建設業と卸・小売業は減少 ～

[4～6月期の実績] 設備投資の実施状況をみると、全業種では「実施した」および「計画を縮小して実施した」と答えた企業は28.0%（前期34.2%）と前期比減少した。

これを業種別にみると、**製造業**30.4%（前期27.7%）、**建設業**25.0%（同38.9%）、**卸・小売業**27.7%（同36.2%）であり、**製造業**は増加、**建設業**と**卸・小売業**は減少した。

[7～9月期の見通し] 今後3ヵ月の設備投資について、全業種では「具体的な計画がある」と答えた企業は全体で26.7%（前期21.2%）、「計画はあるが具体化していない」は15.2%（同21.9%）、「計画はない」は58.1%（同56.9%）であった。「計画あり」は合計41.9%となっている。

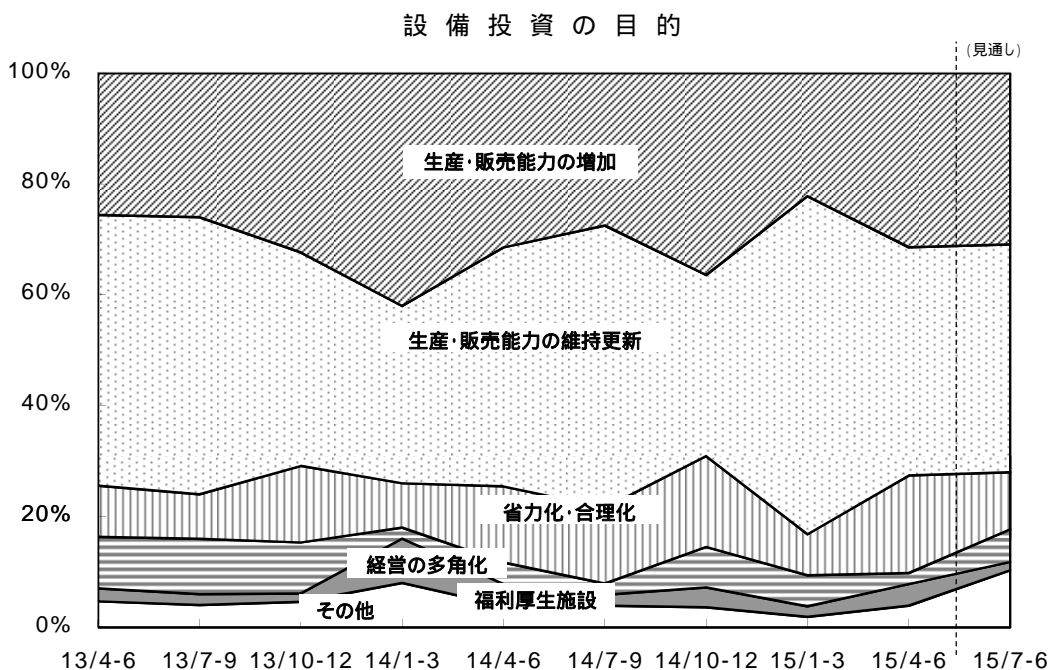
業種別にみると、「具体的な計画がある」および「計画はあるが具体化していない」と答えた企業は、**製造業**で54.6%（前期56.3%）、**建設業**で30.5%（同35.3%）、**卸・小売業**で37.8%（同37.7%）の見通しとなっている。



(2) 設備投資の目的

[4～6月期の実績] 今回の調査で「設備投資を実施した」と答えた企業(28.0%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が41.2%（前期61.1%）でトップとなり「生産・販売能力の増加」が31.4%（同22.2%）で2位となった。業種別にみると、全業種で「生産・販売能力の維持更新」がトップであった。

[7～9月期の見通し] 今後3カ月の設備投資について、「計画あり」と答えた企業(41.9%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が41.2%でトップとなり、以下、「生産・販売能力の増加」30.9%、「省力化・合理化」が10.3%で3位となっている。



4. 資金繰り状況について

(1) 資金繰り状況

～ 資金繰りの見通しは全業種で低下予想～

〔4～6月期の実績〕 資金繰り状況（前期比）は、全業種では、「楽になった」とする企業が20.8%（前期18.6%）、「苦しくなった」が20.3%（同23.7%）であることから、DIは0.5（同 5.1）と上向いた。

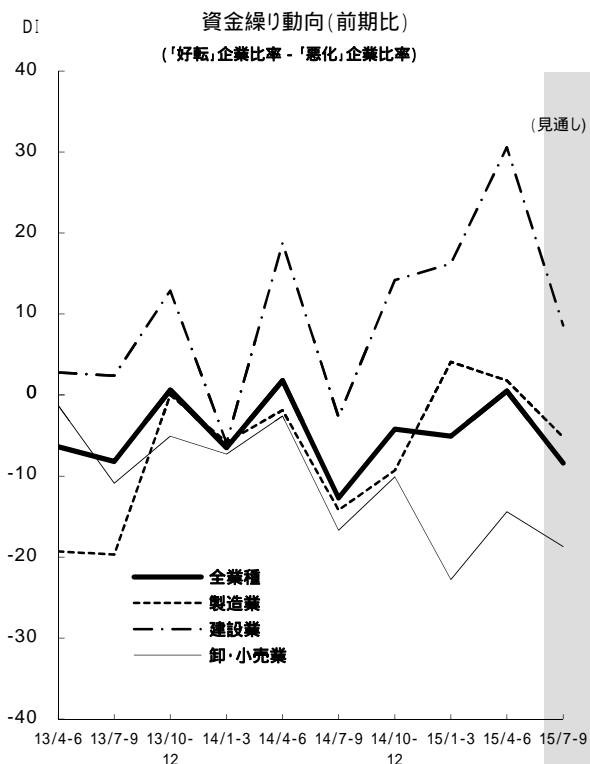
業種別にDIをみると、製造業が1.8（前期4.1）、建設業が30.6（同16.2）、卸・小売業は14.4（同 22.8）と製造業は低下、建設業と卸・小売業は上向いた。

〔7～9月期の見通し〕 7～9月期の見通し（当期比）をみると、全業種では「楽になる」とみる企業が13.2%、「苦しくなる」が21.6%で、DIは 8.4となり、4～6月期実績と比較して、低下する見通しとなっている。

業種別にDIをみると、製造業 5.2、建設業8.6、卸・小売業 18.7となっており、全業種で低下する見通しとなっている。

資金繰り(前期比)

		（％）					DI
	期	楽	やや楽	不変	やや苦	苦	
全業種	4～6月 (実績)	6.5	14.3	58.9	14.9	5.4	0.5
	7～9月 (見通し)	3.0	10.2	65.2	18.0	3.6	-8.4
(製造業)	4～6月 (実績)	10.7	14.3	51.8	12.5	10.7	1.8
	7～9月 (見通し)	8.8	5.3	66.6	14.0	5.3	-5.2
(建設業)	4～6月 (実績)	11.1	27.8	52.8	8.3	0.0	30.6
	7～9月 (見通し)	0.0	22.9	62.8	14.3	0.0	8.6
(卸・小売業)	4～6月 (実績)	1.3	7.9	67.2	19.7	3.9	-14.4
	7～9月 (見通し)	0.0	8.0	65.3	22.7	4.0	-18.7



(2) 現金・預金

[4～6月期の実績] 現金・預金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が24.2%（前期19.1%）、「減少した」が27.2%（前期も31.8%）であることからDIは△3.0（同△12.7）と上向いた。

[7～9月期の見通し] 7～9月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が15.0%、「減少する」が22.2%であることから、DIは△7.2と低下する見通しとなっている。

(3) 金融機関借入

[4～6月期の実績] 金融機関借入金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が9.7%（前期22.2%）、「減少した」が42.0%（同32.7%）であることから、DIは△32.3（同△10.5）と上昇した。

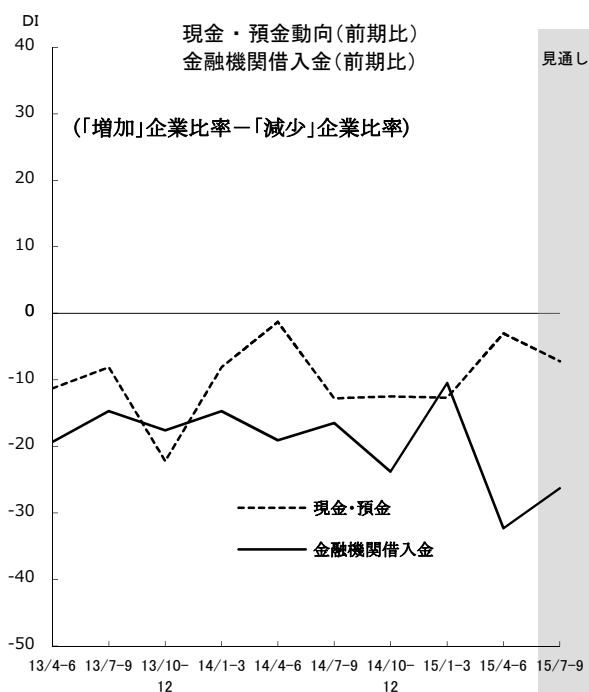
[7～9月期の見通し] 7～9月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が9.2%、「減少する」が35.5%であることから、DIは△26.3と上向く見通しとなっている。

現金・預金(前期比)

		（％）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	4～6月 (実績)	5.3	18.9	48.6	21.9	5.3	-3.0
	7～9月 (見通し)	1.2	13.8	62.8	16.8	5.4	-7.2

金融機関借入金(前期比)

		（％）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	4～6月 (実績)	3.0	6.7	48.3	34.1	7.9	-32.3
	7～9月 (見通し)	1.8	7.4	55.3	29.4	6.1	-26.3



(4) 販売代金回収期間

[4～6月期の実績] 販売代金回収期間（前期比）については、「短くなった」とする企業が4.8%（前期3.2%）、「長くなった」が4.2%（同7.8%）であることから、DIは0.6（同△4.6）となった。また91.0%（同89.0%）の企業は「変わらない」としている。

[7～9月期の見通し] 7～9月期の見通し（当期比）をみると、「短くなる」とみる企業が1.8%、「長くなる」が5.4%であることから、DIは△3.6となる。また、92.8%の企業は「変わらない」とみている。

(5) 仕入代金決済期間

[4～6月期の実績] 仕入代金決済期間（前期比）については、「長くなった」とする企業が1.2%（前期1.9%）、「短くなった」が1.2%（同3.9%）であることから、DIは0.0（前期△2.0）となった。また、97.6%（前期94.2%）の企業は「変わらない」としている。

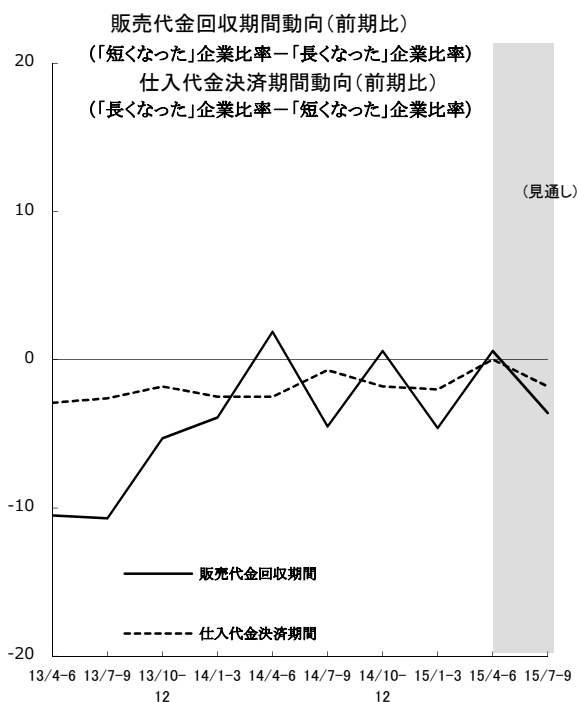
[7～9月期の見通し] 7～9月期の見通し（当期比）をみると、「長くなる」とみる企業が0.6%、「短くなる」が2.4%であることから、DIは△1.8となる。また、97.0%の企業は「変わらない」とみている。

販売代金回収期間（前期比）

		（%）						DI
	期	短く	やや短	不変	やや長	長く		
全業種	4～6月 （実績）	1.2	3.6	91.0	3.6	0.6	0.6	
	7～9月 （見通し）	0.0	1.8	92.8	5.4	0.0	-3.6	

仕入代金決済期間（前期比）

		（%）						DI
	期	長く	やや長	不変	やや短	短く		
全業種	4～6月 （実績）	0.0	1.2	97.6	0.6	0.6	0.0	
	7～9月 （見通し）	0.0	0.6	97.0	1.8	0.6	-1.8	



5. 経営上の問題点について

～ 経営上の問題は製造業と卸・小売業は「売上・受注不振」、
建設業は「人手不足」～

4～6月期における経営上の問題点をみると、全業種では「売上・受注不振」20.9%（前期20.8%）、「原材料・仕入価格高」17.2%（前期17.3%）、「人手不足」14.8%（同15.5%）となっている。

業種別に上位3項目をみると、製造業では「売上・受注不振」が25.7%で1位、続いて「原材料・仕入価格高」が21.8%で2位、「人手不足」が10.9%で3位となっている。建設業では「人手不足」が22.6%で1位となり、「原材料・仕入価格高」と「過当競争」が18.9%で2位となった。

卸・小売業では「売上・受注不振」が20.7%で1位、「収益不振」が17.8%、「原材料・仕入価格高」が14.1%となっている

経営上の問題点

(2項目以内複数回答可)

